



4月は登園後の自由あそびの時間に、よく保育室に入って子どもたちとあそんでいました。一緒にソフブロックを組み立てていると、3歳の男の子が私の近くにきて「ひでせんせー、なんであそんでんの？」「おしごといかないの？」とそれはそれはまっすぐな目で質問してきました。「みんなと遊びたいんだよ」と答えると、「ふーん」や「へー」の軽い反応の後、その子はあそび始めました。

また別のある時の園庭、バケツにザルで蓋をして大事そうに持っている子がいました。「みていいよ！」と慎重に見せてくれたバケツの中には、よくぞ集めたと思うくらいのアリがたくさん。さつとザルで蓋を閉じると、「アリはすなをたべるんだよ」と言い残し、颯爽と歩いていきました。

この年齢、この時しかできない発想や考え方を受け、子どもってなんて面白いだろうと改めて思った出来事でした。子ども自身のその時のふとした疑問、自分の(思い込んで)知識を素直に表現してくれています。子どもたちは真剣に言っているんですよ。

色々起こる日々の中で、つい忙しさを理由に子どもたちの声を聞かずに、大人の都合を押し付けていることがあるかも知れません。子どもと目線に立ってみたいと見えない世界があり、子どもの世界に飛び込みたいと感じられないことがたくさんあります。その子の行動の理由が分かるかもしれないよ。そんな意識を私自身も大切にしていきます。

園長 梶原 秀一

今月の予定

牛久市幼児教育指導員の先生方による「おはなし会」<年中・長児> 5/1(月) 14:00~ 4,5歳児を対象に宮本弘先生と栗山明彦先生が、絵本や紙芝居の読み聞かせをさせていただきます。読み聞かせならではの「間」「空気感」は、子どもたちに良い刺激を与えてくれます。

リトミック<かえるG~> 5/11(木) 今年度も中島よし子先生にリトミックのご指導いただきます。毎年、子どもたちは楽しみながら、音楽に合わせて身体を動かしています。0,1,2歳児もクラスでまねっこしながら楽しんでますよ。

保育参観 5/15(月)~19(金) お子さんの園生活での様子をご覧いただければと思います。にじ、ひかり、ほし、だいちのお家の方はお子さんと一緒に活動していただく予定です。動きやすい服装で来園をお願いします。詳細は以前配布した手紙をご覧ください。

おべんとうデー 5/17(水) 子どもたちが大好きなお弁当の日です！傷まないように、必ず冷ましてからフタをしてください。名前を書いた保冷剤も一緒に入れてください。

交通安全教室<年中・長児> 5/23(火) 13:30~ 今回は「信号の見方、道路の渡り方」を教えてください。毎回子どもたちのために地域安全課の交通安全教員の皆さんが教えてください。

カレーライスの日 5/24(水) 今回もみんなで力を合わせてカレー・サラダ・フルーチェを作ります。3歳児以上のご家庭はエプロン・三角巾をお忘れなく！

誕生会 5/30(火) 10:00~ 5月生まれの誕生会です！お祝いしてもら嬉しさ、お祝いする喜びを感じてもらおうと良いですね。今月も誕生児の保護者の方はお時間が合えばどうぞ~！

お知らせ・お願い

- ★廊下は走らない・走らせない
★新型コロナウイルス感染症について

- ★着替えの補充をお願いします！
★チャイルドシート・ジュニアシート

☆尿検査
6月7日(水) 9:00までに提出
☆内科検診
6月8日(木) 14:00~
☆歯科検診
6月15日(木) 14:00~
◎保育士 内田 愛 先生が、5月1日から産休に入ります。

「共育・協育・響育」
理事 浅田 精利
(北竜台ふたば文化にて) お気付きでしたでしょうか。入園式の時、先生方は初対面にも関わらず、名簿を見ずに、一人ひとり、全ての子の顔を見て、名前を呼んでいました。とてもできない事です。そして、初登園日は、大騒動です。最近では、良い生活習慣を身につけている子が多く、初めから活発に遊び、泣く子は少ないのですが、上履きと外靴の区別ができず、上履きのまま外に飛び出し、泥んこのまま部屋に戻ります。まだオムツが取れない子もいます。一人を拭いていると、さらに一人と、息つく間もありません。でも、先生方は怒ったり叱ったりせず、いつもにこやかに「この次は、出そうになったら教えてね。一緒にトイレに行つて、オシッコしようね。」と優しく教えます。それでも、何度も失敗します。失敗しても忍耐強く教えます。靴を自分で履けない子も目立ちます。自分でできるように、履き方を教えます。給食が始まると、さらに大変です。あつちでゴハンをひっくり返した、スープをこぼしたと、始末をしていると、こつちではオシッコをもらしたと、大騒ぎです。その間に、全ての連絡帳に目を通します。自分の食事をする時間は、殆ど取れません。どうしても早食いになってしまいます。私は、見かねて、必ず3歳児の部屋に応援に行つていきます。自分で食べられない子もいます。明らかに食事の仕方を教えられていません。ハシを持たずにワシズカミで、食べ散らかしてしまいます。本園では、子ども達が健康に発達するように、何でも自分でできるようにやらせています。オムツも早目に取ってもらいます。靴も自分で履けるようになります。食事の仕方、ハシの持ち方も、やらせなければ、できるようになりません。「子ども達の最良の教師は、自らの手である。」 モンテッソーリ「子ども達は良い環境の中で、なすことにより学ぶ。」 デューイ「人をデクの坊(何もできない人間)にする一番の方法は、何もやらせず、全てやってやることだ」と、今川氏が人質の徳川家康の育て方を指示した、と言う話があります。(しかし、お付きの家臣はそうはさせなかつた。)